

一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会
令和2年 新年交礼会開催



一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会 令和2年 新年交礼会が、1月9日（木）午後5時からANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋（名古屋市中区）にて会員401名が出席して開催されました。来賓として国会議員・県会議員、行政担当部局幹部、関係団体役員の方々25名のご出席を賜りました。

新年交礼会は近藤千雅副会長の開会の辞で始まり、会長挨拶で永井良一会長は「あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族共々清々しい新年を迎えられ益々清栄のことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より当協会の諸活動に対しご理解とご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、10月12日には台風19号の豪雨により長野県、東日本の各地で多数の河川の氾濫により甚大は人的被害と建物被害が発生しました。さらに10月19日にはこれに追い打ちをかけるように台風21号により千葉県を中心に浸水被害を出すなど短期間の間に膨大な被害が発生し、インフラや交通網に影響が出ました。これらの災害により亡くなられた皆様のご冥福をお祈り申し上げるとともに被災された方々に



新年の挨拶を述べる永井会長

心よりお見舞いを申し上げます。

当協会では台風19号で被害にあった長野県につきましては災害廃棄物処理の支援の要請を受けて令和元年11月11日から仮置場での分別業務を開始し、11月13日から運搬業務、処分業務を開始させていただきました。おかげをもちまして、皆様のご協力により12月6日に我が協会が支援をしました2,000㎡の災害廃棄物の搬出を終了し、12月24日に2次排出の焼却残さの埋立処分も終了しました。

支援をいただきました方々の実績ですが、千曲市での仮置場の管理、運營業務の支援で15社からのべ191人の方々の支援をいただきました。また、千曲市から愛知県への災害廃棄物運搬業務では23社の方々にのべ95台の配車をいただきました。災害廃棄物処分業務では16社の会員の方々に約682トンの災害廃棄物の処分の協力をいただきました。千曲市の災害廃棄物処理について多大なご協力をいただきましたことに感謝を申し上げます。我々の災害廃棄物処理の視点では仮置場の管理から

収集運搬、処分までを大きな会社が一社で受けたりJVを組んで受けたりしましたが産業廃棄物協会として会員相互の協力で支援を行ったことは全国で初めてであり当協会が良い先鞭が出来たと自負しています。これもひとえに協会を盛り上げていただいた会員の皆様の力の賜物だと感謝しております。ありがとうございます。

つきましては令和元年台風19号による罹災証明において全壊及び半壊の判定を受けた建築等の解体を公費で行うこととしておりその災害廃棄物についても引き続き当協会でも処分して欲しいとの依頼があります。千曲市が公費解体の申請の受付をはじめ令和2年1月14日以降千曲市において分別、貯留された災害廃棄物を量がまとまった段階で連絡をもらい愛知県内に運搬し処分したいと考えておりますのでその際にはご協力をお願いいたします。

また、千曲市の災害廃棄物処理の支援を行う中で産業廃棄物処理施設で一般廃棄物である災害廃棄物を処理する上で法律的な課題を把握することができましたのでこれから制度改正に向けて活動していきたいと考えていますのでよろしくお願いたします。最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

来賓の挨拶では愛知県知事 大村秀章氏より「昨年起きました台風19号における千曲市の災害廃棄物の撤去は、協会皆様の多くの方が携わっていただきありがとうございます。心より感謝申し上げます。

なんと言っても愛知県は日本一の産業県です。この産業を支えるのは循環型社会、リサイクルであり、皆様のお力が無ければ愛知は一日たりとも回りません。どうか産業が進む中、リサイクル循環も含め皆様と一緒に愛知を作り上げていきたいと思っております。愛産協会員様のご隆盛を祈念し新年のご挨拶とさせていただきます。」と述べました。

内閣府第一部会会長代理自由民主党衆議院議員工藤彰三氏からは「皆様新年明けましておめでとうございます。いま永井会長がお話しされた通り台風15号、19号で多大な被害がありました。特に千曲市の災害廃棄物の処理は大変でした。これは省令を変えていかないと処分する場所、置き場に困ってしまうことです。本当に気候変動に対して人間の力は無力だと考えておりますが、それをなんとか打破するためにも愛産協の皆様方の結束した力が必要です。皆様との対話をしっかりと進めることをお約束して令和2年の新年交礼会のご挨拶とさせていただきます。」と述べました。



新年の挨拶を述べる
大村愛知県知事



新年の挨拶を述べる
工藤衆議院議員

〈令和2年 新年交礼会ご来賓〉(順不同・敬称略)

愛知県知事	大村 秀章	公益社団法人 静岡県産業廃棄物協会 事務局長代理	瀬崎 秀五
内閣府第一部会会長代理自由民主党衆議院議員	工藤 彰三	一般社団法人 三重県産業廃棄物協会 会長	井上 吉一
自由民主党副幹事長参議院議員	酒井 庸行	一般社団法人 三重県産業廃棄物協会 専務理事	筒井 照雄
愛知県議会議員	直江 弘文	一般社団法人 愛知県建設業協会 上席	土田 浩通
環境省中部地方環境事務所 所長	秀田 智彦	一般社団法人 中部経済連合会 防災・環境部長	祖山 薫
環境省中部地方環境事務所 資源循環課 課長	金井 信宏	愛知県中小企業団体中央会 事務局長兼	太箸 俊一
環境省中部地方環境事務所 廃棄物対策等 調査官	川邊 祐二	労働企画部長・組織支援部長	
愛知県環境局長	森田 利洋	愛知県衛生事業協同組合 副理事長	相木 徹
名古屋市環境局事業部廃棄物指導課 課長	中西 岳志	愛知県衛生事業協同組合 事務局長	伊藤 勝至
一般社団法人 岐阜県産業環境保全協会 理事長	粥川 長司	名古屋市一般廃棄物事業協同組合 理事長	新美 三良
一般社団法人 岐阜県産業環境保全協会 専務理事	大坪 敬明	名古屋市一般廃棄物事業協同組合 事務局長	工藤 淳
公益社団法人 静岡県産業廃棄物協会 副会長	岩間 雄一		

自由民主党副幹事長参議院議員 酒井庸行氏からは「明けましておめでとうございます。昨年の19号台風による長野県の被害については、愛知県を通して千曲市にお出かけいただき、大変なご協力をいただき誠にありがとうございました。



新年の挨拶を述べる
酒井参議院議員

た。ニュースでも見られたと思いますが、気候変動が年々激しくなり、温暖化が進めば進むほど大きな台風のスピードが遅くなる、という研究が出ているとのこと。上陸した地域に長く止まるということは、さらに被害が大きくなるということです。そのことを考え国はしっかりと対策を立てていかななくてはなりません。その時は愛産協の皆様方のご協力を仰ぐこととなると思いますので、よろしく願い申し上げます。本年の皆様のごさらなるご発展を願い新年のご挨拶とさせていただきます。」と述べました。

環境省中部地方環境事務所所長 秀田智彦氏からは、「新年明けましておめでとうございます。協会の皆様方には日ごろから生活環境の保全、公衆衛生の向上、資源の効率的な活用といったところで非常に調査研修、及び研究に取り組んでいただき、改めてお礼申し上げます。



新年の挨拶を述べる環境省
中部地方環境事務所 秀田所長

皆様のご記憶に新しいところでは、台風19号の被害について、中部地方では長野県を中心に起こりました。この災害におきまして千曲川の堤防が決壊し、非常に大きな被害を出しました。環境省といたしましては、そのことで生じた災害のがれきの処理の被災支援を担当して、発災直後から現地入りをしておりました。愛知県は、愛産協の皆様が支援をしてくださるという有難いお言葉をいただき、仮置場に次々運び込まれる災害廃棄物を愛知県まで運び、処理をしていただくところまでを担当していただき



ご出席された来賓の方々

ました。現在の状況は、長野県内のいたる所になりました仮置場のごみが全て片付きました。年内（令和元年）に片付けると約束していましたので、それを履行することができ一安心というところです。これもみな愛産協の皆様方の献身的な活躍のおかげだと思っており、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

また、今回の支援でいろいろな課題が出てきましたので、私共も積極的に改善を進め、次回の支援の際はスムーズに対応していただけるように対策をしております。今年一年循環型社会の実現に向けて共に歩んでいければと思っておりますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。」と述べました。

来賓の方の挨拶後、片山さつき氏のメッセージが代読され、ご列席された来賓の方々のご紹介がありました。

乾杯の発声は、愛知県議会議員 直江弘文氏が音頭を取り会食が始まり、アトラクションは地元のライブレストランで人気のある「双子デュオ GEMI & THE WINDOWS」のステージが行われました。

また、会場内には昨年発足した女性部のテーブルが設けられ、活動に興味を持たれた方々が訪れるなど、交流の輪を広げる良い機会となりました。

閉会の辞（中締め）を副会長の中野兼司氏が述べ、新年交礼会はお開きとなりました。



直江愛知県議会議員の発声で乾杯が行われました。